

IASB Update

2021年1月

IASB Update は、国際会計基準審議会（審議会）の予備的決定を示している。IFRS®基準、修正及び IFRIC®解釈指針に関する審議会の最終的な決定は、IFRS 財団及び IFRS 解釈指針委員会「デュール・プロセス・ハンドブック」に示されているとおり正式に書面投票が行われる。

審議会は 2021 年 1 月 26 日にリモートで会議を行った。

トピックは、議論した順に、以下のとおりであった。

- [審議会の作業計画のアップデート（アジェンダ・ペーパー8）](#)
- [維持管理及び一貫した適用（アジェンダ・ペーパー12）](#)
- [開示に関する取組み—SMEs である子会社（アジェンダ・ペーパー31）](#)
- [基本財務諸表（アジェンダ・ペーパー21）](#)

関連情報

今後の IASB 会議：

2021 年 2 月 15 – 19 日

2021 年 3 月 22 – 26 日

2021 年 4 月 26 – 30 日

[IASB Update ニュースレターのアーカイブ](#)

過去の IASB Update は [こちら](#)

[要約のポッドキャスト](#)

過去の IASB ボード会議の要約のオーディオ（ポッドキャスト）は [こちら](#)

[プロジェクト作業計画](#)

プロジェクト作業計画は [こちら](#)

審議会の作業計画のアップデート（アジェンダ・ペーパー8）

審議会は 2021 年 1 月 26 日に会合し、[作業計画](#) についてのアップデートを受けた。審議会は 2021 年 2 月 4 日に臨時のバーチャル会議を開催する計画についてのアップデートも受けた。Covid-19 に関連した賃料減免に関する IFRS 第 16 号「リース」の修正（2020 年 5 月公表）で設けた、実務上の救済措置の期間延長を提案すべきかどうかを議論するための会議である。この会議のアジェンダ及び会議資料は、[会議ページ](#) で入手可能である。

審議会は何も決定を求められなかった。

今後のステップ

審議会は作業計画についての次回のアップデートを 2021 年第 2 四半期に受ける予定である。

維持管理及び一貫した適用（アジェンダ・ペーパー12）

審議会は 2021 年 1 月 26 日に会合し、IFRS 解釈指針委員会の 2020 年 12 月の会議についてのアップデートを受けた。この会議の詳細は [2020 年 12 月の IFRIC Update](#) で公表された（[日本語訳](#)）。

審議会は何も決定を求められなかった。

開示に関する取組み—SMEsである子会社（アジェンダ・ペーパー31）

審議会は2021年1月26日に会合し、次のことについて議論した。

- のれん及び耐用年数を確定できない無形資産を含んだ資金生成単位についての開示要求 — アジェンダ・ペーパー31A
- 開示削減のIFRS基準案の範囲 — アジェンダ・ペーパー31B
- 協議文書は公開草案とすべきかディスカッション・ペーパーとすべきか — アジェンダ・ペーパー31C

のれん及び耐用年数を確定できない無形資産を含んだ資金生成単位についての開示要求（アジェンダ・ペーパー31A）

審議会は、SMEsである子会社についての開示削減のIFRS基準案に、IAS第36号「資産の減損」の第134項(a)から(c)、第134項(d)(i)、第134項(e)(i)、第134項(e)(iiA)、第135項(a)から(c)及び第136項に示されている開示要求を含めるべきであると暫定的に決定した。13名の審議会メンバー全員がこの決定に賛成した。

開示削減のIFRS基準案の範囲（アジェンダ・ペーパー31B）

審議会は、開示削減のIFRS基準案の範囲をSMEsである子会社よりも広くすべきかどうかについて議論した。審議会は、SMEsである子会社のみが当該基準を適用する資格があるとすべきであること、及び基準の範囲の提案についてコメントを求めることを暫定的に決定した。13名の審議会メンバーのうち11名がこの決定に賛成した。

審議会はまた、SMEである子会社が適格となるのは、報告日現在で、連結財務諸表においてIFRS基準を適用している親会社の子会社である場合のみとし、範囲を単一の企業の財務諸表に限定すべきではないと暫定的に決定した。13名の審議会メンバーのうち11名がこの決定に賛成した。

協議文書—ディスカッション・ペーパーか公開草案か（アジェンダ・ペーパー31C）

審議会は公開草案に直接進むことを決定した。13名の審議会メンバーのうち12名がこの決定に賛成した。

今後のステップ

2021年2月に、審議会は公開草案についての書面投票の開始の許可及び特にコメント期間の設定を求められる。

基本財務諸表（アジェンダ・ペーパー21）

審議会は2021年1月26日に会合し、公開草案「全般的な表示及び開示」に対するフィードバックについての議論を継続し、プロジェクト提案の再審議の計画について議論した。（公開草案は、財務諸表における表示及び開示に関する新しいIFRS基準の提案を示したものであり、最終確定される場合、IAS第1号「財務諸表の表示」を置き換えることになる。また、他のIFRS基準の修正案も示していた。）

審議会はプロジェクト提案を再審議する計画に同意した。

今後のステップ

審議会は今後の会議でプロジェクトの再審議を開始する。

本ニュースレターで公表される情報は、さまざまな情報源から作成しており、我々の知識の限りにおいて正確なものである。当審議会、IFRS 財団、執筆者及び発行者は、本出版物の内容を信頼して行為を行うことにより生じる損失については、当該損失が過失により生じたものであれ他の原因により生じたものであれ責任を負わない。

Copyright © IFRS Foundation
コピーライト © IFRS 財団
ISSN 1474-2675